

記入要領

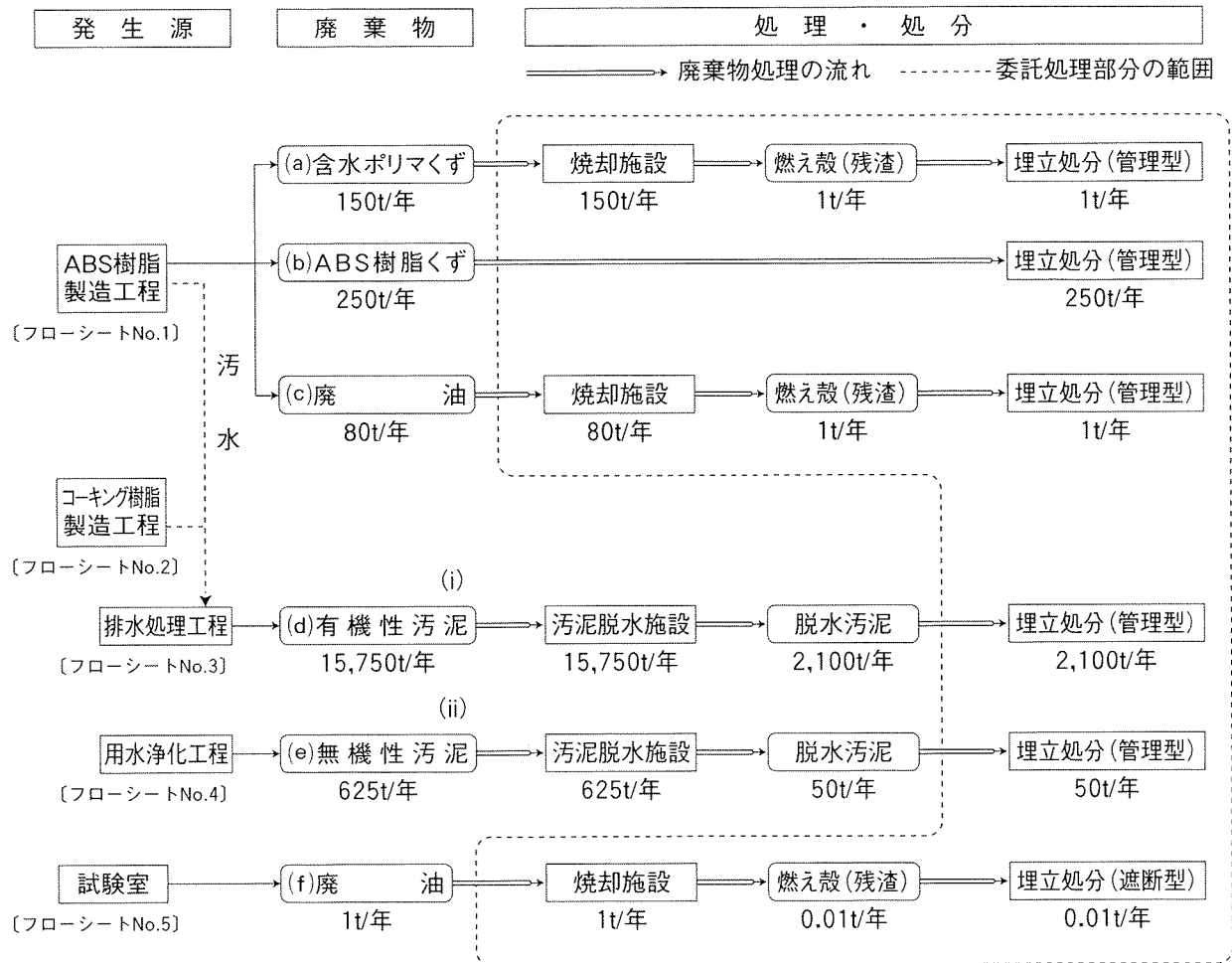
- 1 認定を受けようとする事業所欄については、所要事項を記載してください。
- 2 事業所の概要欄中事業内容の項目については認定を受けようとする事業所の事業内容（例：プラスチック樹脂の製造）を、業種の項目については日本標準産業分類（総務省統計局）に基づく業種及び分類番号を、製造品出荷額等の項目については製造品出荷額又はそれに相当する金額を、（特別管理）産業廃棄物排出量については直近の実績値を記載してください。
- 3 認定を希望する対象事業欄については、次の区分を踏まえ、認定を希望する事業の番号のいずれかを○印で囲んでください。
 - (1) 発生抑制（リデュース）推進事業所
産業廃棄物の発生抑制に積極的に取り組み著しい成果を上げている事業所
 - (2) リサイクル100事業所
産業廃棄物の再資源化を積極的に行いリサイクル率100パーセントを達成している事業所
 - (3) 先駆的再資源化技術・装置・システム開発事業
他に先駆けて、再資源化の技術、装置、システムを開発し、製造、販売する事業又は同システムにより産業廃棄物の再資源化を行っている事業
 - (4) その他特に知事が優良と認める事業
再資源化が容易な製品を開発し、製造、販売する事業、又は産業廃棄物の発生・排出を抑制する技術開発など再資源化等に著しく寄与すると知事が認める事業
- 4 再資源化等の取組のテーマ／名称欄については、認定対象事業に係る貴社の取組みを端的に表現しているテーマ名を記入してください。
(例) パソコンのリサイクル事業、○○の再生利用システム
- 5 産業廃棄物名称欄については、認定対象事業において再資源化の対象としている産業廃棄物の具体的な名称を記載してください。
(例) 廃〇A 機器類、○○の製造から発生する△△
- 6 再資源化等の取組の内容欄については、次の事項について記載してください。なお、参考となる資料があれば添付してください。
 - (1) 認定対象事業に取り組むに至った背景・経緯、経営上の位置付け、取組み体制
廃棄物の再資源化等事業に取り組むに至った社会的・経済的背景、取組みの経緯、経営上の位置付け、取組み体制について、記入してください。
 - (2) 廃棄物の再資源化等事業の実施内容
 - ① 再資源化等の工程
当該事業において、廃棄物の発生、排出／受入、回収から再資源化製品の製造等再生利用までの工程について、工程図（フローシート）により説明してください。
 - ② 施設又は組織の構成

当該事業の再資源化等工程で使用している施設又は組織の全体構成、各施設の機能及び性能諸元等について、構造図面、組織・システム図等を添付の上説明してください。

③ 物質収支又はエネルギー収支

当該事業の再資源化等工程における1ヶ年（又は1ヶ月）当りの物質収支（原料等の投入量と重量比及び製品等の算出量と重量比）又はエネルギー収支を記載してください。

（工程図又は物質収支の記載例）



(3) 廃棄物の発生・排出抑制の取組内容

当該事業の廃棄物の発生抑制、排出抑制の取組内容について、次の事項を踏まえ具体的に記載してください。

① 廃棄物発生・排出抑制の実施内容

製造工程を改良し製品歩留まりの向上による廃棄物の発生抑制、梱包の簡素化による廃梱包材の発生抑制、発生した廃棄物を工場内で製造工程の原料として再利用し外部への排出を抑制する排出抑制、処理業者がリサイクルしやすいように事業所内で前処理するなど廃棄物の発生・排出抑制の具体的な実施内容について記載してください。

② 廃棄物発生・排出抑制の実施フロー

廃棄物の発生・排出抑制の実施内容のフローについて、廃棄物の種類ごとに、発生・排出抑制を実施する以前の処理のフローと比較することにより記載してください。

③ 廃棄物の発生量、排出量、再資源化量及び最終処分量の推移

廃棄物の発生量等について適宜のグラフを作成し添付してください。

(4) 生活環境保全上の措置

当該事業の再資源化等工程における産業廃棄物処理基準への適応、二次廃棄物の処理状況及び公害防止のための対策等について記載してください。

7 取組の開始年月欄については、申請に係る再資源化事業を開始した年月を記載してください。

(例) 平成〇〇年△△月

また、取組の継続年数欄については、1年に満たない月数は切り捨てて記載してください。

8 廃棄物の発生量及び排出量等欄については、各項目毎の直近の実績値及びその前年又は前々年の実績値を記載してください。

- (注) 1 発生量：事業所内で発生した産業廃棄物の量（有価物を含む。）で中間処理前の量
2 排出量＝発生量－有価物量

9 取組の先進性欄については、当該再資源化等事業の先進性、独創性のほか、同種の再資源化等事業を実施している他社と比較した場合の優位性などについて記載してください。

10 再資源化等の効果／有効性欄については、次の事項について記載してください。なお、参考となる資料があれば添付してください。

(1) 廃棄物の減量化効果

当該再資源化等事業による廃棄物の減量化効果について、記載してください。

(2) 省資源・省エネルギー効果

再生原料を使用することによる天然資源の代替・節約効果等当該再資源化等事業の実施による省資源・省エネルギー効果について、具体的に記載してください。

(3) 環境保全効果

廃棄物による環境汚染の防止等当該再資源化等事業の実施による環境保全効果について、記載してください。

(4) 経済的効果

当該再資源化等事業の導入による経済的効果について、導入以前との比較対照により、下記例を参考に記載してください。

なお、他社の廃棄物を引き取り再資源化している場合は、有償、無償又は処理費を受け取るなど原料とする廃棄物の受入条件を併せて記載してください。

(記載例)

導入以前の経費		再資源化技術・装置・システム導入後の経費と収益			
自社中間処理経費	円／年	再資源化経費	円／年	再生品販売収入	円／年
産廃処分費	円／年	二次産廃処分費	円／年		
原料購入費	円／年	原料購入費	円／年		
〇〇費	円／年	〇〇費	円／年		
△△費	円／年	△△費	円／年		
計	円／年	計	円／年	計	円／年

(5) 波及効果

当該再資源化等事業が普及することにより期待される効果について記載してください。

(6) 有効性

先駆的再資源化技術・装置・システム開発事業にあっては、次の事項について具体的に記載してください。

①廃棄物の処理能力、再資源化製品の生産能力

②耐久性、信頼性

③維持管理性、安全性

- 11 今後の課題／構想欄については、廃棄物の再資源化等を今後とも継続して実施していく上での問題点、計画目標を達成する上での課題、将来構想について記載してください。
- 12 表彰の実績欄については、本制度以外の制度による過去の表彰実績がある場合、制度名称、表彰区分及び、受賞年を記載してください。
- 13 I S O等国際環境基準の取得状況欄については、当該数字を○印で囲んでください。なお、取得済みの場合は、取得年及び規格名を記載してください。